

## 地域生活支援センターたのしみ 放課後等デイサービスウサギ自己評価表

2021年11月実施

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練等スペースとの関係で適切であるか	5	0	0	
	②	職員の配置数は適切であるか	4	0	1	
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	0	4	1	・現状バリアフリー化は不十分である。 ・玄関にスロープを設置するなど、工夫している。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標と振り返り)に、広く職員が参画しているか	3	2	0	・毎月拠点において会議を行い、業務改善のために情報交換をしている。 ・常勤職員のキャリアパスを策定し、PDCAサイクルを用いて業務の改善を図っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	3	2	0	・会議等において周知され、共通理解を図っている。 ・保護者へのアンケートを11月に実施し、結果を業務の見直しのために利用している。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公表しているか	4	1	0	・法人のホームページにて公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	4	0	1	・実施していない。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	5	0	0	・定期的に研修の機会が設けられている。 ・内部研修、外部研修に積極的に参加し、資質向上に努めている。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	5	0	0	・利用者の様子や保護者の意向を確認したうえで支援計画を作成している。 ・年に3回個別支援計画を作成し、保護者の同意を得ている。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	1	2	2	
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	4	0	1	・基本的には日々のストレスを軽減できるような活動内容を組み立てている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	3	1	1	・活動や遊びを選べるように提供している。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	1	3	1	・状況に合わせて課題や日課を設定し対応している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	4	1	0	・利用者の状態により個別で対応した方が良いと思われる場合等、その日の状況で対応することがある。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	2	2	1	・状況に応じて責任者の指示のもと役割を分担し、業務にあたっている。 ・状況に応じて随時職員間の情報共有に努めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日に行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	1	3	1	・打ち合わせという形ではないが日々職員同士で気づいたことを情報交換し合っている。 ・大切な案件に関しては月1回の打ち合わせの場で情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	4	1	0	・利用時の利用者の様子や、連絡ノートの保護者からの状態の引継ぎなど、日々記録をとり、振り返りを行っている。

	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	5	0	0	・担当相談員がモニタリングを行い、情報を共有している。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	2	3	0	・個別支援計画を作成し、それに基づき支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	5	0	0	
	㉑	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	5	0	0	・月末までに翌月の利用状況を各学校と共有している。 ・月初めには学校から行事予定や下校時刻が掲載されたお便りをいただいている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連携体制を整えているか	2	2	1	・現状医療ケアが必要な児童の利用はない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	4	0	1	・情報共有、連携に努めている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか	4	1	0	
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	4	1	0	・児童発達支援センターが併設されている。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	0	1	4	・現状行えていない。
	㉗	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか	2	0	3	・担当者が参加している。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	4	1	0	・連絡ノートにて情報共有している。 ・降所時に活動内容や様子をお伝えしている。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	0	2	3	
保護者への説明責任等	㉚	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	5	0	0	・利用開始前に重要事項の説明を行っている。
	㉛	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	4	1	0	・適切に対応し、可能な限り支援している。
	㉜	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	1	1	3	・感染症の流行下ということもあり、現状実施できていない。

③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	5	0	0	・法人内で苦情対応の体制を整え、迅速、適切に対応している。 ・苦情対応の責任者に報告し、その指示のもと、職員間で情報共有しながら対応を行っている。
③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	0	0	・法人機関紙「嬉泉新聞」、嬉泉福祉交流センター袖ヶ浦発行の「うたのひ」を定期発行している。
③⑤	個人情報に十分注意しているか	5	0	0	・個人情報の記載された書類は施錠管理しており、取り扱いについては内部研修にて職員に周知、共有されている。
③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	5	0	0	・連絡ノートのやりとりや、来所時、降所時の口頭による引継ぎ、個別の電話連絡など、情報共有に努めている。
③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	0	3	2	・例年、地域交流を目的とした行事(バザー)を年2回(東京、袖ヶ浦)実施してきたが、感染症流行下ということもあり、昨年度より中止となっている。
③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	3	2	0	・職員への周知は十分に行われているが、保護者への周知は不十分なため、検討している。
③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	5	0	0	・年間2回実施している。 ・定期的にマニュアルの見直し、改定も行っている。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	4	0	1	・法人内、及び袖ヶ浦拠点内で対応の体制を整えている。 ・虐待防止や人権擁護に関する内部研修を実施し、職員の倫理観の向上に努めている。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	3	2	0	・身体拘束の取り扱いや実施に至るまでの手続きについては、内部研修において職員間の共有が行われている。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	5	0	0	・全ての利用者に対してアレルギーの有無の確認を行い、留意している。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	5	0	0	・事例があれば記録し、毎月の会議の場で共有し、事故防止に努めている。 ・拠点内で事例を共有、周知するための体制が整備されている。